

指定校推薦編入学試験 入試要項〔選考方法・合否判定方法・合理的配慮の提供に関する対応方法〕

選考方法			
	学 部	試験科目	試験時間
	先端理工学部	説明・書類記入	9：45～10：00
		面接 (口頭試問)	10：00～
試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。 (合否判定) 短期大学長・高等専門学校長の推薦を尊重し、出願書類および面接を総合して、合否を判定します。			
	学 部	試験科目	試験時間
	文 学 部 心 理 学 部	説明・書類記入	8：50～9：10
		面接	9：10～
試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。 (合否判定) 短期大学長の推薦を尊重し、出願書類および面接を総合して、合否を判定します。			
	学 部	試験科目	試験時間
	経済学部・経営学部・法学部・ 政策学部・国際学部・社会学部・ 農学部	説明・書類記入	8：50～9：10
		小論文	9：10～10：10
		面接	10：30～
試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。 (合否判定) 短期大学長・専修学校長の推薦を尊重し、出願書類、小論文および面接を総合して、合否を判定します。 1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。			
小論文・面接について			
文 学 部	面接	文学部が定める入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）への深い理解を前提として、志望する学科・専攻に対する明確な動機と学修意欲などを中心に面接します。	
心理 学 部	面接	心理学部が定める入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）への深い理解を前提として、明確な志望動機と学修意欲などを中心に面接します。	
経 済 学 部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、経済学部での学修にあたっての適性を判定します。	
	面接	経済学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、出願書類を基に志望動機・大学での学修の抱負などを中心に面接します。	
経 営 学 部	小論文	経営学部で学ぶにあたり、受験生の思考力や文章表現力を評価し、適性を判定します。	
	面接	経営学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、出願書類を基にして、志望動機・高校卒業以降の学業状況・編入後の大学生活の抱負などをふまえて適性を判定します。	
法 学 部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、法学部で学ぶにあたっての適性を判定します。	
	面接	法学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、法学部での学びの目標やどのような学生生活を送ろうとしているのか等を中心に面接します。	
政 策 学 部	小論文	受験生の文章表現力や論理性などを評価し、政策学部で学ぶにあたっての適性を判定します。	
	面接	政策学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、政策学部での学びの目標やどのような学生生活を送ろうとしているのか等を中心に面接します。	
国 際 学 部	小論文	受験生の思考力と文章構成力を評価し、国際学部で学ぶにあたっての適性および真摯な勉学意欲の持ち主であるかどうかについて判定します。	
	面接	なぜ国際学部での勉学を強く希望し入学を志すのか、入学後も学業に情熱を注ぎ続ける意欲と勤勉さの持ち主であるかどうかを中心に面接します。	
先端理工学部	面接 (口頭試問)	先端理工学部への志望動機、勉学意志、これまでの履修状況などを対話によって確認し、口頭試問により基礎的学力やコミュニケーション力などについて評価します。	
社 会 学 部	小論文	受験生の思考力、意見表明能力を評価し、社会学部で学ぶにあたっての適性・素質を判定します。	
	面接	個人面接です。この試験では、社会学部での勉学を強く希望し入学を志すのかについての適性・素質を判定します。入学後も学業に情熱を注ぎ続けることのできる強い意志を有しているかについても判定します。	
農 学 部	小論文	受験生の論理的思考力や文章表現力等を評価し、農学部での学修にあたっての適性を判定します。	
	面接	農学部が定める入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）について事前に理解しておくことを前提に、農学部での学びの目標やどのような学校生活を送ろうとしているのか等を中心に面接します。	

合理的配慮の提供に関する対応方法

龍谷大学入学試験では、障がいのある受験生のために受験上の配慮を行います。受験上の配慮を希望する受験生は、出願等の手続をする前に本学へ必ずご連絡ください。